

Apple Push Notificationサービスを使用したBroadWorks NPSのHTTP/2の構成

内容

[要件](#)

[コンフィギュレーション](#)

[HTTP/2のURLを設定します](#)

[認証キーの設定](#)

[実稼働環境および開発環境のトークンの追加](#)

[XSP 22.0を使用している場合はHTTP/2を有効にします](#)

[BroadWorksの再起動](#)

[トラブルシューティング](#)

[参考](#)

[評価クライアントの接続](#)

2021年3月31日以降、Notification Push Server(NPS)はHTTP/2インターフェイスを使用してApple Push Notificationサービス(APNS)と通信する必要があります。HTTP/2インターフェイスは、パッチap354313を介してBroadWorksリリース22.0で使用でき、リリース23.0はHTTP/2のみをサポートします。

BroadWorksリリース22.0を実行している場合は、ap354313を適用した後で、次の手順を使用してHTTP/2を設定できます。23.0以降にアップグレードする場合は、APNS用にHTTP/2をを2を設定する必要があります。

要件

22.0+または23.0 XSP上に存在する必要があります。XSP ONLYがNPSを実行し、ASが21.sp1の場合、22.0/23.0 XSPは21.sp1スタックと並行して実行できます。詳細については、「[BroadWorks互換性マトリックス](#)」を参照してください。

HTTP/2を構成するには、認証キーID、チームID、および認証キーとして現在使用されているクライアントを確認する必要があります。21.sp1で構成されたアプリケーションは、次の場所にあります。

```
XSP_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/Production/Certificate> get
```

- Cisco/BroadSoft以外のiOSアプリケーションは、HTTP/2 APNSプロトコルを使用するように設定する必要があります。
- CollaborateまたはSaaS BroadWorksアプリケーションをHTTP/2に移行する必要があります。[APNsの通知プッシュサーバーにHTTP/2サポートを追加](#)SaaSクライアントの場合は、BAMポータル→構成→BroadWorksにログインし、セクションまでスクロールします。[Notification Push Server]を選択し、ドロップダウンから適切なリリースを選択して、指示に従います。Connect Evalクライアントの場合、TACでチケットを開き、認証キー、認証キーID、およびチームIDを要求します。以下に示すアプリID、認証キーID、チームIDはブランドのないクライアント用です。ブランドクライアントを使用する場合は、Appleからクライアント用にこの情報を取得する必要があります。

他のクライアントに必要なトークンは、Apple Developerポータルから入手できます。Appleのマニュアルは次のリンクから入手できます。

https://developer.apple.com/documentation/usernotifications/setting_up_a_remote_notification_server/.. にアクセスしてください。

新しい22.0、23.0、またはADPにアップグレードまたは導入する場合は、必要なライセンスが必要です。

また、Xchange for OSおよびアップグレードの要件に関するリリースノートも参照してください。

コンフィギュレーション

Notification Push Server CLIのURLが、実稼働と開発の両方のHTTP/2に対して正しいことを確認します。

HTTP/2のURLを設定します

```
_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/Production> get
url = https://api.push.apple.com/3/device
connectionPoolSize = 5
connectionTimeout = 1000
connectionIdleTimeoutInSeconds = 600
_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/Development> get url =
https://api.development.push.apple.com/3/device connectionPoolSize = 5 connectionTimeout = 1000
connectionIdleTimeoutInSeconds = 600
```

上記の設定は、ご使用のシステムに合わせて調整する必要があります。上記の例と次の推奨事項から始まる可能性があります。

- 「ConnectionPoolSize」は、NPSがAPNSサーバーに対して実行できる同時接続数です。これにより、NPSのスループットが向上し、タイムアウトの問題に直接対処できない場合があります。ConnectionPoolSizeを2より大きくする必要があります。ap377409がないと、NPSが2より大きい値を正しく登録できない場合があることに注意してください。
- connectionTimeoutを1000を超える値に設定することを推奨します。

Aの設定認証キー

```
_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/AuthKey> add UTHPSAD667 Y2V5KSH586
/export/home/bwadmin/EVAL_Team-Y2V5KSH586-APNsAuthKey_ID-UTHPSAD667.p8
...Done
```

```
_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/AuthKey> get
Auth Key Id      Team Id          Auth Key
=====
64D9E5NY4S      D775LZJG9V      *****        <- SaaS
L44B3C998K      698ZB8543V      *****        <- Connect Dev
UTHPSAD667      Y2V5KSH586      *****        <- Connect Eval
```

3 entry found.

Produのトークンの追加機能および開発環境

```
_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/Production/Tokens> add com.broadsoft.connect.eval
authKeyId UTHPSAD667
...Done
```

```
_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/Production/Tokens> get
App Id      Auth Key Id
=====
com.broadsoft.uc-one    64D9E5NY4S    <- SaaS
com.broadsoft.connect.eval  UTHPSAD667    <- Connect Eval
```

2 entries found.

HTTP/2を XSP 22.0の使用

```
XSP_CLI/Applications/NotificationPushServer/APNS/GeneralSettings> set HTTP2Enabled true
```

注：23.0またはADPでは、HTTP/2を無効にできないため、この手順は必要ありません。

BroadWorksの再起動

```
restartbw
```

トラブルシューティング

HTTP/2 POSTへの応答は、通知プッシュサーバによって処理されます。APNからの応答コード「200」は、APNが通知を正常に受信したことを意味し、デバイスに通知をプッシュしようとしています。詳細なエラーメッセージは、Notification Push Serverログに記録されます。

Appleがエラーコードを返した場合、Appleのエラーコードは次のAppleのマニュアルに記載されています。

<https://developer.apple.com/library/archive/documentation/NetworkingInternet/Conceptual/RemoteNotifi..>

ADPを使用する場合は、TLSv1.2を使用するようにASを設定する必要があります。これを設定するには、ASに次のコンテナオプションを追加します。

```
AS_CLI/Maintenance/ContainerOptions> add platform bw.apache.sslenabledprotocols "-ALL +TLSv1.2"
```

ASがTLSv1.2を使用するように設定されたら、BroadWorksを停止し、設定を再起動して、ASでBroadWorksを再起動します。

```
stopbw
configctl restart
startbw
```

参考

HTTP/2 BroadWorks ドキュメント：<https://xchange.broadsoft.com/node/498995>

前のバイナリAPNSインターフェイスの交換に関するExchangeに関するアラート：<https://xchange.broadsoft.com/node/1053230>

UC-Oneソリューションガイド : <https://xchange.broadsoft.com/node/1049202>

22.0については、ap354313のパッチノートを参照してください。

<https://xchange.broadsoft.com/node/496044>

ap354313は、プラットフォームだけでなく、AS、EMS、HZS、PS、NS、NFM、UMS、およびXSPにも存在し、Javaを8.0_102bにアップデートするために、これはHTTPで動作するための要件です/2は、UMSが22.0上に存在する必要があるわけではありません。

評価クライアントの接続

<https://apps.apple.com/in/app/uc-one-connect-evaluation/id1114743230>